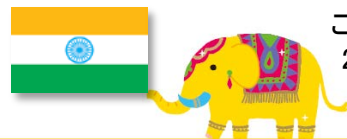


インドの株式市場と経済環境

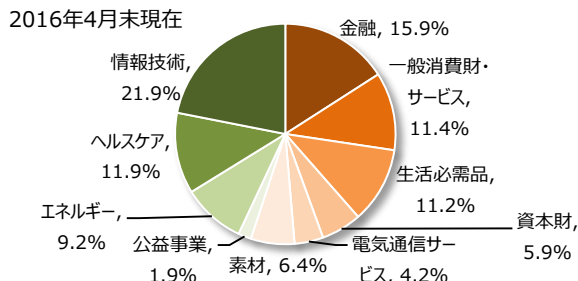


今回は、インドの株式市場をご紹介します。インドの株式市場は歴史が古く、証券取引所も複数存在し、現在の時価総額は合計で約156兆円※にのぼります。業種構成は、国内需要に伴って成長する企業や、グローバルで活躍するIT企業や製薬企業など、バランスの良い構成となっています。

インドの株式市場は、ラジャン中央銀行総裁とモディ首相の就任を契機に、政策期待から2015年初までは上昇しましたが、その後は海外の投資環境悪化やインド企業の業績回復の遅れなどから下落しました。しかし、物価の落ち着きから金融緩和基調が続いており、また原油安も原油輸入国であるインドの経常収支改善に追い風となりました。今後は、主要国の中でも継続的に高い経済成長が予想されており、回復が遅れていたインド企業の業績も2016年は前年比2桁の成長が見込まれるなど、株式市場の回復が期待されます。

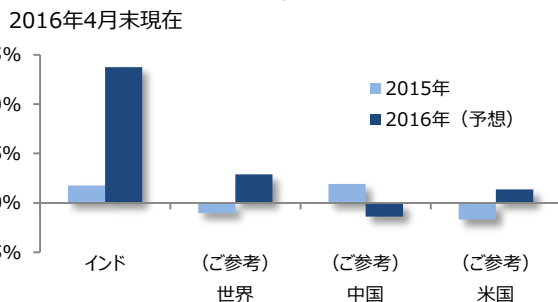
※ 2016年4月末現在。2016年4月末の為替レート 1米ドル=107円で換算。
(ご参考) 同時点における東証時価総額：約509兆円

■インド株式市場の業種構成



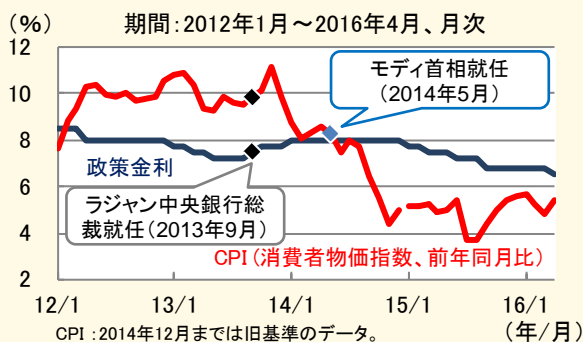
インド株式市場：MSCI India Index

■各国のEPS（一株当たり利益）成長率

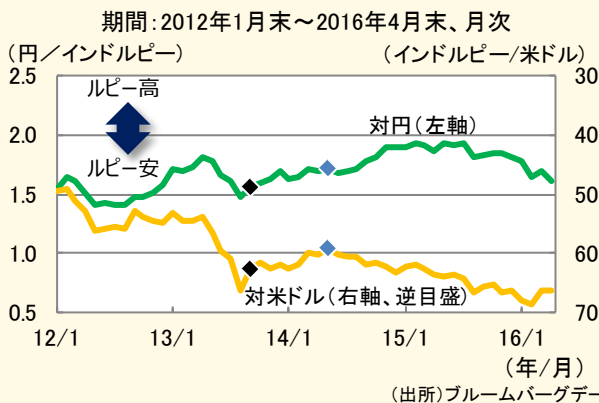


ファクトセットコンセンサス予想ベース。世界：MSCI AC World Index、他：MSCI各国Index
(出所)ファクトセットデータを基に野村アセットマネジメント作成

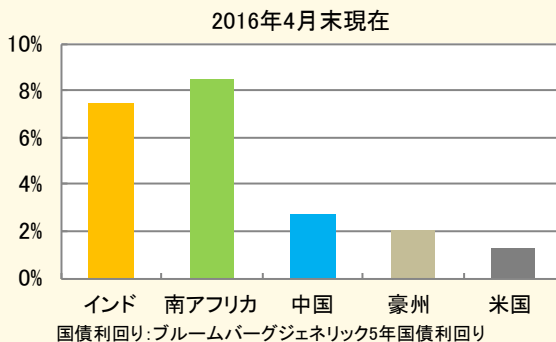
■政策金利とインフレ率の推移



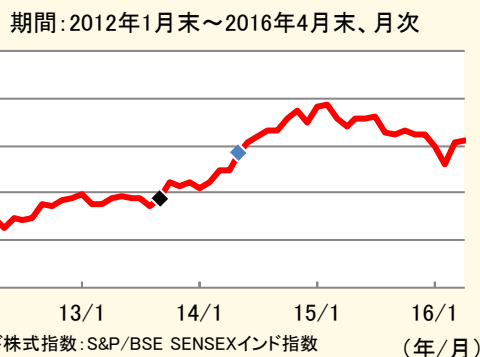
■為替の推移



■各国の国債利回り比較



■インド株式指数の推移



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。